

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第20期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	リスクモンスター株式会社
【英訳名】	Riskmonster.com
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤本 太一
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目16番5号 R M Gビル
【電話番号】	03 - 6214 - 0331
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 吉田 麻紀
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目16番5号 R M Gビル
【電話番号】	03 - 6214 - 0331
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 吉田 麻紀
【縦覧に供する場所】	リスクモンスター株式会社大阪支社 （大阪市中央区本町二丁目6番8号） リスクモンスター株式会社名古屋営業所 （名古屋市中村区名駅四丁目26番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間	第20期 第1四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	691,261	743,633	2,962,616
経常利益 (千円)	83,486	127,189	467,197
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	47,259	80,236	280,818
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	158,671	112,361	317,053
純資産額 (千円)	4,403,116	4,541,797	4,541,180
総資産額 (千円)	5,362,777	5,442,706	5,513,893
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	12.23	21.01	72.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	12.19	-	72.53
自己資本比率 (%)	80.8	82.0	81.0

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第20期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米中の貿易摩擦の激化やIT関連の需要の低迷を背景に、景気は足踏み感がみられ、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、2016年4月に制定した2016年度から2020年度までの長期ビジョン「Rismon G-20」、その達成に向けたマイルストーンである2019年4月にスタートした2ヶ年計画「第6次中期経営計画（2019～2020年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・自己株式の取得（4月）
- ・商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ（iOS版）提供開始（4月）
- ・テクマトリックス株式会社と共同で人工知能（AI）活用によるRM格付精度向上の実証実験実施を公表（4月）
- ・業務拡大のため大阪支社を移転（5月）
- ・格付ロジック改定（定性項目の評価にAIを導入し、ビッグデータの分析をさらに多面化）（6月）
- ・公開研修講師陣が出演する動画eラーニングコースを提供開始（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
 - 「仕事・会社に対する満足度」調査結果（5月）
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「非鉄金属製造業（2019年改訂版）」（4月）
 - 「繊維・衣服等卸売業」（5月）
 - 「情報サービス業」（6月）

<連結業績について>

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高(千円)	691,261	100.0	743,633	100.0	107.6
営業利益(千円)	80,268	11.6	103,588	13.9	129.1
経常利益(千円)	83,486	12.1	127,189	17.1	152.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	47,259	6.8	80,236	10.8	169.8

	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計(注)	11,548	12,281	733

(注)会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部あります。

(売上高)

主力の与信管理サービス事業及びその他サービスにおける教育関連事業の売上高が順調に増加したため、連結の売上高は743,633千円（前年同期比107.6%）となりました。

(利益)

主力の与信管理サービス事業及びその他サービスにおける教育関連事業の利益が増加したこと等により、営業利益は103,588千円（前年同期比129.1%）、経常利益は127,189千円（前年同期比152.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80,236千円（前年同期比169.8%）となりました。

（会員数合計）

会員数は12,281会員と順調に増加いたしました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス(千円)		367,722	384,610	104.6
ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス(千円)		45,103	45,407	100.7
その他(千円)		18,877	43,088	228.3
コンサルティングサービス売上高合計(千円)		63,980	88,496	138.3
売上高合計(千円)		431,703	473,106	109.6
セグメント利益(千円)		61,868	71,395	115.4

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス(注)	5,979	6,217	238

(注) サービス相互提携を行う会員を含む

当第1四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は473,106千円（前年同期比109.6%）、セグメント利益は71,395千円（前年同期比115.4%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が堅調だったことに伴い、384,610千円（前年同期比104.6%）となりました。

コンサルティングサービス売上高合計は、お客様独自の与信管理システムを構築するクラウドサービスや、IPOに向けた反社・与信管理体制の構築支援が好調で、その他の売上高が43,088千円（前年同期比228.3%）と大きく増加し、88,496千円（前年同期比138.3%）となりました。

セグメント利益につきましても、売上高が増加したこと等により前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス(千円)		128,560	125,776	97.8
その他(千円)		13,534	9,331	68.9
売上高合計(千円)		142,094	135,107	95.1
セグメント利益(千円)		43,826	41,034	93.6

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) (注)	3,068 (134,210)	3,184 (140,640)	116 (6,430)

(注) ()は外数でユーザー数

当第1四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)の売上高の合計は135,107千円(前年同期比95.1%)、セグメント利益は41,034千円(前年同期比93.6%)となりました。

会員数及びユーザー数が増加し定額の利用料が積み上がったものの、ディスク容量の利用が減少したため、売上高が減少いたしました。

セグメント利益につきましては、利益率が高いディスク容量の利用が減少したことや、サービスシステムのパブリッククラウド(注)への移行に伴う費用を計上したこと等により、前年同期を下回りました。

(注)クラウドプロバイダー等が、広く一般のユーザーや企業向けにクラウドコンピューティング環境をインターネット経由で提供するサービス

ウ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計(千円)	80,176	83,645	104.3
セグメント損失(千円)	12,765	11,683	-

当第1四半期連結累計期間のBPOサービス事業の売上高は83,645千円(前年同期比104.3%)、セグメント損失は11,683千円(前年同期はセグメント損失12,765千円)となりました。

主力のデジタルデータ化等BPOサービスの売上高が堅調に増加したため、損失額が減少いたしました。

エ) その他サービスについて

「教育関連事業」等を含むその他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計(千円)	72,697	92,565	127.3
セグメント利益(千円)	4,633	21,873	472.0

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
その他サービス(注)	2,501	2,880	379

(注)定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員
 なお、当第1四半期連結会計期間末は、「サイバックスUniv.」に登録している従量制会員も含めております。

当第1四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は92,565千円(前年同期比127.3%)、セグメント利益は21,873千円(前年同期比472.0%)となりました。

当第1四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が2,229会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、その他の売上高が増加したこと等により、売上高は好調に推移しました。

また、当社グループ商材の海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、651会員となりました。

セグメント利益につきましては、教育関連事業における売上高増加が寄与し、前年同期を大きく上回りました。

なお、当社グループのセグメントを、法人会員向けビジネスとその他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び エ) その他サービスのうちの教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

事業別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
与信管理サービス(千円)	431,703	473,106	109.6
ビジネスポータルサイト(千円)	142,094	135,107	95.1
教育関連(千円)	40,307	53,882	133.7
法人会員向けビジネス売上高合計(千円)	614,106	662,096	107.8
与信管理サービス(千円)	61,868	71,395	115.4
ビジネスポータルサイト(千円)	43,826	41,034	93.6
教育関連(千円)	5,978	23,199	388.1
法人会員向けビジネス利益合計(千円)	111,672	135,630	121.5

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス	5,979	6,217	238
ビジネスポータルサイト(注)	3,068 (134,210)	3,184 (140,640)	116 (6,430)
教育関連	1,845	2,229	384
法人会員向けビジネス会員数合計	10,892	11,630	738

(注) ()は外数でユーザー数

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、ウ) BPOサービス事業及び エ) その他サービスのうちのその他であります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、651会員となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計(千円)	112,565	122,329	108.7
その他ビジネス損失(千円)	14,109	13,010	-

(2) 財政状態の状況

		前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
	流動資産(千円)	2,649,461	2,497,071	152,390
	固定資産(千円)	2,864,431	2,945,635	81,203
資産合計(千円)		5,513,893	5,442,706	71,186
	流動負債(千円)	555,769	462,250	93,519
	固定負債(千円)	416,943	438,658	21,715
負債合計(千円)		972,712	900,909	71,803
純資産(千円)		4,541,180	4,541,797	616
負債純資産合計(千円)		5,513,893	5,442,706	71,186

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ152,390千円減少し、2,497,071千円となりました。これは主に、自己株式の取得や、税金及び配当金の支払い等により現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ81,203千円増加し、2,945,635千円となりました。これは主に、大阪支社の移転に伴う有形固定資産の増加や、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ71,186千円減少し、5,442,706千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ93,519千円減少し462,250千円となりました。これは主に、税金の支払により、未払法人税等が減少したことによるものです。固定負債は21,715千円増加し438,658千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ71,803千円減少し、900,909千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べ616千円増加し、4,541,797千円となりました。また、自己資本比率は82.0%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,231,600
計	15,231,600

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,923,500	3,923,500	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	3,923,500	3,923,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年4月1日 ~ 2019年6月30日	-	3,923,500	-	1,155,993	-	718,844

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 78,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,843,900	38,439	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	3,923,500	-	-
総株主の議決権	-	38,439	-

(注) 当第1四半期会計期間において自己株式を取得したため、2019年6月30日現在の自己株式は115,900株となっております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
リスクモンスター株式会社	東京都中央区日本橋 2-16-5 RMGビル	78,000	-	78,000	1.98
計	-	78,000	-	78,000	1.98

(注) 当第1四半期会計期間において自己株式を取得したため、2019年6月30日現在の自己株式は115,900株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.95%)となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,101,131	1,953,221
受取手形及び売掛金	395,785	378,807
有価証券	99,999	99,999
原材料及び貯蔵品	11,904	8,796
その他	41,403	56,872
貸倒引当金	762	626
流動資産合計	2,649,461	2,497,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	553,218	565,012
減価償却累計額	96,933	98,372
建物及び構築物(純額)	456,284	466,640
工具、器具及び備品	444,088	470,905
減価償却累計額	362,043	367,709
工具、器具及び備品(純額)	82,044	103,195
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,860
減価償却累計額	4,050	4,252
リース資産(純額)	810	607
建設仮勘定	-	2,926
有形固定資産合計	1,107,492	1,141,722
無形固定資産		
ソフトウェア	587,905	590,649
その他	44,747	63,062
無形固定資産合計	632,652	653,712
投資その他の資産		
投資有価証券	1,064,262	1,096,545
その他	60,157	53,787
貸倒引当金	133	133
投資その他の資産合計	1,124,286	1,150,200
固定資産合計	2,864,431	2,945,635
資産合計	5,513,893	5,442,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	266,146	230,777
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	108,586	26,014
賞与引当金	515	398
その他	120,361	144,900
流動負債合計	555,769	462,250
固定負債		
長期借入金	275,800	268,260
退職給付に係る負債	6,974	5,070
その他の引当金	9,400	10,616
その他	124,767	154,711
固定負債合計	416,943	438,658
負債合計	972,712	900,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	989,085	989,085
利益剰余金	2,058,932	2,073,794
自己株式	104,830	151,201
株主資本合計	4,099,180	4,067,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,170	386,676
為替換算調整勘定	12,186	11,010
その他の包括利益累計額合計	367,357	397,687
非支配株主持分	74,642	76,438
純資産合計	4,541,180	4,541,797
負債純資産合計	5,513,893	5,442,706

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	691,261	743,633
売上原価	315,357	340,274
売上総利益	375,903	403,359
販売費及び一般管理費	295,635	299,771
営業利益	80,268	103,588
営業外収益		
受取利息	32	25
受取配当金	6,003	9,048
投資事業組合運用益	-	15,174
その他	161	625
営業外収益合計	6,197	24,874
営業外費用		
支払利息	1,004	854
投資事業組合運用損	1,396	-
自己株式取得費用	443	418
その他	134	-
営業外費用合計	2,979	1,273
経常利益	83,486	127,189
特別利益		
投資有価証券売却益	-	183
特別利益合計	-	183
特別損失		
事務所移転費用	6,944	1,576
その他	643	60
特別損失合計	7,588	1,637
税金等調整前四半期純利益	75,898	125,735
法人税、住民税及び事業税	21,527	22,896
法人税等調整額	5,142	20,368
法人税等合計	26,670	43,264
四半期純利益	49,227	82,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,968	2,234
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,259	80,236

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	49,227	82,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,717	31,438
為替換算調整勘定	273	1,546
その他の包括利益合計	109,443	29,891
四半期包括利益	158,671	112,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,606	110,566
非支配株主に係る四半期包括利益	2,065	1,795

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	74,692千円	78,551千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月23日 取締役会	普通株式	58,354千円	15.0円	2018年3月31日	2018年6月11日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月22日 取締役会	普通株式	65,373千円	17.0円	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイト (グループ ウェアサー ビス等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	431,075	141,848	70,009	642,932	48,328	691,261	-	691,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	628	246	10,167	11,042	24,368	35,410	35,410	-
計	431,703	142,094	80,176	653,974	72,697	726,672	35,410	691,261
セグメント利益又は 損失()	61,868	43,826	12,765	92,929	4,633	97,563	17,294	80,268

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま
 ず。

- セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全
 社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
- セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイト (グループ ウェアサー ビス等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	472,314	134,827	73,095	680,236	63,396	743,633	-	743,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	792	280	10,550	11,623	29,169	40,792	40,792	-
計	473,106	135,107	83,645	691,860	92,565	784,426	40,792	743,633
セグメント利益又は 損失()	71,395	41,034	11,683	100,746	21,873	122,620	19,031	103,588

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま
 ず。

- セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全
 社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
- セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	12円23銭	21円01銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	47,259	80,236
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	47,259	80,236
普通株式の期中平均株式数(株)	3,863,388	3,819,678
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	12円19銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	12,243	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年5月22日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....65,373千円

(ロ) 1株当たりの金額.....17円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年6月10日

(注) 2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

リスクモンスター株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 滝澤 直樹 印

業務執行社員 公認会計士 山田 英二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリスクモンスター株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リスクモンスター株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。